



支部だより

東北支部

サイエンスフェア@福島高専

はじめに——イベントの目的と概要

2024年度から福島工業高等専門学校では、協力会企業および研究機関と共同で『サイエンスフェア』を開催しております。いわき市には科学館がないこともあり、小・中学生が理科、特に科学について学ぶ機会が少なくなってしまうという現状があります。そこで、小学生のうちに科学に触れて体験する機会や理科に興味を持つきっかけを作ること、福島県の創造的復興に向けた長期的な基盤とすべく本イベントが創設されました。また、普段入ることのない高専に足を踏み入れることで、参加児童と保護者の皆様に「高専がどんなところか」を知っていただくと同時に、出展する地元企業を知っていただくきっかけになることも期待されます。

2025年度の『サイエンスフェア』は、3月20日(金・祝)に企業5社と研究機関3団体のご協力によって本校を会場として開催され、小学生200名の参加者枠に述べ617名の応募があるなど、開催前から非常に高い関心が寄せられました。当日は16種類の中から気になるプログラムを受講いただき、科学の楽しさ・面白さを十分に体験していただけたことと思います。化学・バイオ工学科では「ふわ

ふわスライム・フェイクスイーツをつくらう」というプログラムを出展しました。

ふわふわスライム・フェイクスイーツをつくらう

スライムの作成方法はよく知られているとおり、ポリビニルアルコール水溶液あるいは市販の洗濯のりと四ホウ酸ナトリウム(ホウ砂)水溶液とを混ぜることで簡単に作成ができます。その際に、シェービングクリームを加えることで、水素結合による網目構造に水と空気を取り込まれ、まるでマシュマロのようなふわふわしたスライムを作ることができます。また、ポリオール液とジソシアネート液とで作成される発砲ウレタンを用いたフェイクスイーツは、デコレーション次第で本物のスイーツに匹敵するほどおいしそうで可愛い見目に仕上がります(写真1)。

そのほかにも、本校教員によるプログラム(写真2, 3)や企業・研究機関によるプログラムも様々あり、どのプログラムも盛況でした。

おわりに

イベントの詳細は本校ウェブサイトにも掲載されております。ご興味がありましたら、ぜひご覧下さい。



写真1 フェイクスイーツ作成の様子



写真2 「プログラミングで鉄道模型を走らせよう!」の様子



写真3 「ロケットを打ち上げてみよう」の様子

〔三上進一(福島工業高等専門学校)〕

© 2026 The Chemical Society of Japan